

スクールヘルスリーダー派遣事業



現状

- 子どもの保健室利用者数が増大
- 心身の健康問題の多様化により特別な配慮・医療機関等との連携を必要とする子どもの増加などから、養護教諭の一人配置校では、きめ細かな対応が困難
- 養護教諭未配置校の存在

中央教育審議会答申・学校保健法の一部改正

- 心身の健康問題の多様化に伴い地域の関係機関等との連携を図るコーディネーターの役割を担う必要性
- 経験豊かな退職養護教諭の知見を活用した、現職養護教諭の育成及び支援体制の充実
- 養護教諭を中心として関係教職員等と連携した組織的な保健指導の充実

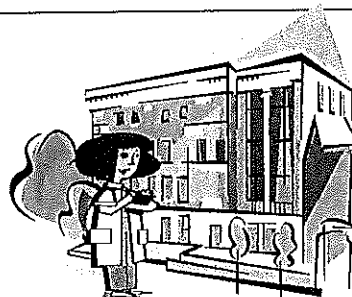
教育振興基本計画

様々な心身の健康問題に対応し、子どもが安心して学校生活を送ることができる環境を整備するため、学校、保護者、地域の保健部局や医療機関等の連携による健康教育の推進を図るとともに、すべての小・中学校における教育面と管理面から成る学校保健に関する計画の策定、小学校から高等学校までの養護教諭未配置校等へのスクールヘルスリーダーの週1回程度派遣を目指す。

退職養護教諭の活用

都道府県レベル連絡協議会の開催

- ・指導内容の共通理解
- ・収集した現状・課題の検討



スクールヘルスリーダー(退職養護教諭)の派遣

【内容】退職養護教諭を

- ・経験の浅い養護教諭の1人配置校
- ・養護教諭の未配置校 へ派遣

(指導例)メンタルヘルスなど多様化した健康課題、保健室登校など個別の対応が求められる子どもへの対応方法や保健室経営などに関する助言、校内研修会の講師 等

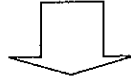
子どもたちが抱える現代的健康課題の対応の充実

問題を抱える子ども等の支援事業

平成21年度予算額(案):955,712千円(955,123千円)

背景

いじめ、暴力行為、不登校、児童虐待、高校中退など、児童生徒の問題行動等は、依然として相当数に上り、生徒指導上の課題は多岐にわたるとともに、問題行動等が複雑、多様化しているため、解決が一層困難な事例が増加。



重要

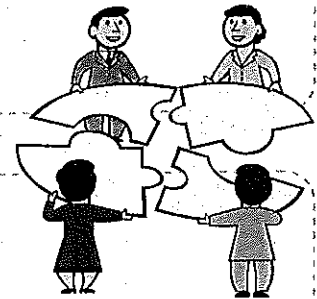
- ① 問題は小さなうちに芽を摘み、悪化するのを未然に防ぐ。
- ② 関係機関等とのネットワークを構築し、問題解決に当たって行動連携を図る。
- ③ 学校外の相談体制を整備する。
- ④ 問題行動等の解決のためのプログラムを開発する。

I. 問題を抱える子ども等の自立支援事業

① 未然防止、早期発見・早期対応につながる取組

<具体例>

- ・学級内でのトラブルを未然に防ぐための学級集団作りの取組
- ・効果的な小中連携の在り方に関する取組
- ・問題行動等の予兆が見られる児童生徒の状況把握の在り方に関する取組



② 関係機関等と連携した取組

<具体例>

- ・サポートチームを活用した児童生徒への支援の在り方に関する取組
- ・第三者的な機関を活用した児童生徒の相談体制の在り方に関する取組
- ・非行防止教室等の効果的な実施方法に関する取組

③ 教育支援センター(適応指導教室)を活用した取組

<具体例>

- ・不登校児童生徒の家庭に対する効果的な支援の在り方に関する取組
- ・学校復帰後の継続的な支援の在り方に関する取組
- ・教育支援センターを中核とした地域の関係機関・団体等との連携の在り方に関する取組

II. 問題行動等への対応におけるNPO等の活用に関する実証研究事業

④ 教育プログラム等の開発のための取組

<具体例>

- ・怒りや感情をコントロールする、児童生徒の発達段階に応じたアンガーマネジメントプログラムの開発
- ・他者との人間関係に困難を抱える児童生徒のためのソーシャルスキルトレーニングの開発
- ・不登校児童生徒が学校復帰を目指すためのステップアッププログラムの開発

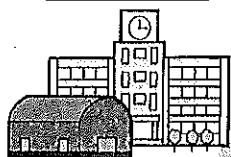
スクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業

平成21年度予算額(案) 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 14,261百万円の内数

補助事業者：都道府県・指定都市

人数：1,040人

学校



関係機関



児童相談所
福祉事務所
保健・医療機関
適応指導教室
警察
家庭裁判所
保護観察所 等



【校内体制づくり】

- ・校内チーム体制の構築
- ・教職員のサポート
- ・教職員等への研修 など

スクールソーシャルワーカー(SSW)

教育と福祉の両面に関して、専門的な知識・技術を有するとともに、過去に教育や福祉の分野において、活動経験の実績等がある者

【関係機関との連携】

- ・ネットワークの構築
- ・関係機関との調整
- ・情報・行動連携 など

児童生徒が置かれた様々な環境の問題への働き掛け

友人



家庭



地域



児童生徒



不登校

児童虐待

いじめ

暴力行為

● 問題行動等の背景には、児童生徒が置かれた様々な環境の問題が複雑に絡み合っている。そのため、

- ① 関係機関等と連携・調整するコーディネート
- ② 児童生徒が置かれた環境の問題(家庭、友人関係等)に働き掛けること等が求められている。